



平成 20 年 5 月 9 日

各 位

株式会社マーベラスエンターテイメント
代表取締役社長 中山 晴 喜
(コード番号：7844 東証第二部)
問 合 せ 先
常 務 取 締 役 青 木 利 則
電 話 番 号 03-5793-9170

平成 20 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 8 月 10 日付「平成 20 年 3 月期 中間・通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期連結業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	12,500	220	150	780
今回発表予想 (B)	12,350	350	320	790
増減額 (B-A)	△150	130	170	10
増減比 (%)	△1.2	59.1	113.3	1.3
(参考) 前通期実績	12,487	△1,052	△1,053	△1,525

2. 連結業績予想修正の理由

売上高におきましては、デジタルコンテンツ事業において、国内におけるゲームソフトの販売減等により、わずかながら前回予想を下回り、12,350 百万円（前回予想増減比 1.2%減）となる見込みであります。

利益面におきましては、音楽映像事業において旧作を中心としたリピート受注が予想を上回り好調に推移したこと、デジタルコンテンツ事業において連結子会社 Rising Star Games Limited を中心に自社グループオリジナル作品の海外売上が順調に拡大したことに加え、カンパニー制の導入に伴い組織体制を強化した結果、広告宣伝費を含め販売費及び一般管理費を圧縮することができたため営業利益 350 百万円（前回予想増減比 59.1%増）、また財務体質の強化に取り組んだ結果、借入利息額を予想数値より圧縮することができたため経常利益 320 百万円（前回予想増減比 113.3%増）となる見込みであります。営業利益、経常利益につきましては、以上の理由により前回予想を上回る結果となりましたが、当期利益につきましては、本日付「特別損失計上のお知らせ」にて発表いたしましたとおり、減損損失（のれんの一括償却）が発生したこと等により、前回予想より微増の 790 百万円（前回予想比 1.3%増）となる見込みであります。

3. 継続企業の前提に関する事項の注記について

当社は、平成 20 年 3 月期において、連結営業キャッシュフローが△210 百万円となる見込みです。これにより当社は 3 期連続営業キャッシュフローがマイナスとなり、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況が発生しております。これに伴い、平成 20 年 3 月期財務諸表に継続企業の前提に関する事項を注記する予定です。記載内容につきましては、平成 20 年 5 月 23 日開催の取締役会において決定し、同日発表予定の「平成 20 年 3 月期決算短信」にてお知らせいたします。

以上